

斐伊川流域「食べごと塾（川と湖のめぐみ編、水源のふるさと編）」事業

実施団体：特定非営利活動法人さくらおろち（雲南市）

交付額：439,112円

実施時期：平成28年2月

斐伊川流域の中間地点である「さくらオロチ湖」周辺において、斐伊川上流と下流の住民が、中国山脈に浸透した水で育まれる農産物や水産物をモチーフとした食文化を理解し、体験する「食べごと塾」を開催しました。

「食べごと塾」は、2月14日と2月21日の二回で開催したところ、当初の予定を上回る55名の松江市、出雲市、雲南市の市民の方々の参加がありました。

2月14日の塾は、「川と湖のめぐみ編」と題し、宍道湖や斐伊川で採れた魚、貝を参加者それぞれが調理して味わいました。また、「水の大切さ」を学ぶため尾原ダムの見学会を開催しました。

2月21日の塾は、「水源のふるさと編」と題し、地元奥出雲町の方を講師に、森づくりと循環型農業について学びました。また、地元の伝統食づくりを参加者で行いました。

この事業を通じて、森や水の大切さ、斐伊川の恵みの豊かさ、環境を守っていくことの必要性を多くの方々に感じていただくことができました。

